

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

45号
2023
夏

小学1・2年に
おすすめ

創作

『もしもぼくのせいがのびたら』 にしきまかやこ//さく こぐま社(約4分)

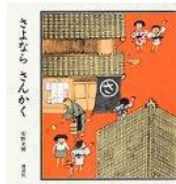


「もしもせいがのびたら」とベッドで考えるたろう。空想の中で、たろうの背はどんどん伸びて、天井も屋根も突き抜け、川も山もひとまたぎ。さらに入道雲と背比べします。明るい色使いの素朴な雰囲気絵と繰り返される「ぼくのせいもつとびろ」のフレーズが楽しい絵本です。



読み聞かせプログラムに取り入れたい 詩の本・うたの絵本

『さよならさんかく』 安野光雅//著 講談社



昔から親しまれてきたわらべうたをもとにした絵本。「しかくはどうふ、どうふはしろい」と連想がつながっていくうたは、様々な遊びにひろげられる。最後のページで、上下をひっくり返すと、逆のうたになる趣向も楽しい。

『かぶとむし かぶとむしの一生』 得田之久//ぶん・えす 福音館書店(約5分)

知識

小学3・4年に
おすすめ

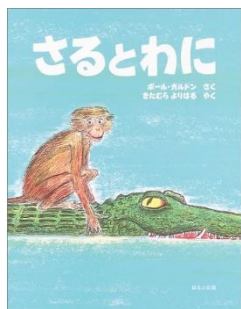
春、土の中で冬を越したカブトムシの幼虫は、10cmにまで成長します。夏、サナギから成虫になり、樹液の出るクヌギ林に飛んでいくと、いろいろな虫たちが集まっています。春から冬のカブトムシの一生を、力強い絵と丁寧な文章で説明した科学絵本。シリーズとして『かまきり』『ちょう』など他に4点あります。



小学5・6年に
おすすめ

昔話

『さるとわに ジャータカ物語より』 ポール・ガルドン//さく 北村順治//やく ほるぷ出版(約9分)



おなかをすかせた若いワニが、一匹のすばしっこいサルを食べてやろうと知恵を絞ります。サルを背中に乗せて川に誘い出すことに成功しますが、サルもすばやく頭を働かせて、ワニを出し抜きます。それでも諦めきれないワニは…。ブッダの前世を語るインドの古い寓話集ジャータカ物語からの一話。ユーモラスな物語を生き生きと描く全ページ見開き一場面の絵が印象的な一冊。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

「子ども室」カウンターでも、質問などをお伺いしています。



[発行]
福井県立図書館子ども読書推進室
(2023.8 発行)
〒918-8113 福井市下馬町 51-11
TEL. 0776-33-8860